

広報えびな 3/1日号

編集・発行 海老名市役所 市長室

〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

代表 ☎046(231)2111 FAX 046(233)9118

☎ http://www.city.ebina.kanagawa.jp

「広報えびな」は、海老名市シルバー人材センターの会員が各家庭へ直接配布しています。お手元に届かない場合はご連絡ください。
☎ 同センター (☎237・3001)

世帯と人口(2月1日現在) 世帯50,254 人口127,062人 男64,521人 女62,541人



北部地区の消防力強化へ

消防北分署を移転へ

市では、このほど消防署北分署の移転・建て替え工事が完了し、2月15日から業務を開始しました。同署は、消防・防火体制の充実・強化を図るとともに、大規模災害発生時の市内北部地区の対応拠点としても機能します。今回は、北分署の概要について紹介します。

☎ 消防総務課 (☎231・5153)。

消防力充実・強化に向け移転・建て替えを実施

市では、市内に消防署を3カ所(本署・北分署・南分署)設置し、市内全域の火災・救助・救急業務に対応しています。このうち北分署は、市内北部地区における消防活動の拠点となっています。

しかし、旧庁舎の耐震強度が不足していたことや、近年のマンション開発等により、同署の管轄地域の人口が増加したことなどを踏まえ、平成20年度から2カ年事業で移転・建て替え工事を行い、北部地区のさらなる消防力の充実・強化を図りました。

地域に会議室を開放 環境に配慮した設備も導入

同署は、車いすの方でも使用しやすい

北分署の概要

- ◆所在地 上今泉6-13-17 (☎231・5510 FAX 231・5241)
- ◆敷地面積 2244.30平方メートル
- ◆建物概要 鉄筋コンクリート造2階建て
建築面積 870.95平方メートル
延べ床面積 1231.89平方メートル
- ◆配備車両 消防ポンプ自動車 1台
15級はしご自動車 1台
高規格救急車 1台
- ◆配置職員 分署長以下20人(交替制勤務)

●救急車・消防車出場件数

[救急車]

	H19	H20	H21	前年比
本署	2571件	2858件	2863件	5件増
北分署	1656件	1381件	1415件	34件増
南分署	1328件	982件	902件	80件減

[救急車・消防車連携出場]

	H19	H20	H21	前年比
本署	100件	124件	95件	29件減
北分署	74件	81件	97件	16件増
南分署	61件	64件	44件	20件減



スロープやバリアフリーのトイレを設置するほか、1階会議室(87・78平方メートル、定員45人)を市民に開放するなど、地域の皆さんにも利用しやすい施設となっています。

また、太陽光発電設備や屋上緑化、雨水利用施設、風力・太陽光併用屋外照明などの設備を設置し、環境に配慮した対策を講じています。

◇太陽光発電設備：太陽光エネルギーを庁舎電灯などに利用することで、二酸化炭素の排出を削減し、地球温暖化防止に効果がある。発電能力は年間約9600キロワット時(石油換算で年間約2100リットルの削減) 〓右写真④

◇屋上緑化：約193平方メートルの屋上に芝生や低木を植えることで、建物の断熱効果がある 〓右写真⑤

◇雨水利用施設：屋上緑化のための散水や、トイレ洗浄用水に利用し、上水道使用量を年間約900立方メートル削減できる

◇風力・太陽光併用屋外照明：敷地内の屋外照明(3基)を、風力と太陽光で発電する照明にする。



▲屋上に設置した太陽光発電設備(写真④)と屋上緑化(同⑤)

増加する救急・消防車出場に対応 北部地区の新たな防災拠点に

同署管轄内の平成21年中の救急車および救急・消防車連携出場の件数は、前年と比較して増加しており(上表)、北部地区の消防力強化が課題となっています。

これらに対応するため、同署では、今回の移転に伴い、従来の高規格救急車1台、消防ポンプ自動車1台に加え、新たに、はしご車1台(15級)を配備しました。これにより、北部地区での中高層火災に迅速に対応するとともに、新たな防災拠点として機能することが期待されます。